

平成17年11月7日  
日本物流団体連合会

**「モーダルシフトフォーラム2005」の開催について（入場申込受付中）**

日本物流団体連合会は11月30日（水） 「モーダルシフトフォーラム2005」を開催する。

今回は、グリーン物流パートナーシップ会議でのモデル事業に名乗りをあげた提案（65件）のうち推進決定事業とされた33件の中から物流連として、新規性、環境対応効果度、パイロット的役割、パートナーシップ度を勘案した独自の基準で次の4提案を選んだ。

提案者によるプレゼンテーションとコメンテーターや入場者との質疑応答を交え、事業の推進に向けて広くアピールしていく場とする。

コメンテーターは帝京平成大学 橋本 昌史教授（概要は別紙参照）

**船舶へのモーダルシフト**

**「都市間静脈物流促進計画」提案**

**鉄道へのモーダルシフト**

**「遠隔地ユーザーへのジャストインタイム対応型モーダルシフト」提案**

**輸送の効率化**

**「トラック連結輸送の推進による輸送コスト、CO2の削減」提案**

**「三島（四国）- 神戸エコ・ロジフィード輸送」提案**

以上

なお、「モーダルシフトフォーラム2005」は11月30日（水）13時30分開演（開場13時）から東京、永田町の「キャピトル東急ホテル 紅真珠の間」にて開催される。

入場は無料で、事前申し込みを物流連のホームページ <http://www.butsuryu.or.jp> にて受付中。

## 提案事業の内容

## 船舶へのモーダルシフト

件名	都市間静脈物流促進計画
荷主企業	大船渡市
物流事業者	東北汽船港運(株)、日本通運(株)
事業概要	大船渡市から釜石市まで10tトラックで1日6往復のゴミ輸送を船舶輸送にシフトする計画。事業実施期間は、H17～19年度。なお、平成16年12月28日「国土交通省環境行動計画モデル事業」に選定。

## 鉄道へのモーダルシフト

件名	遠隔地ユーザーへのJIT対応型モーダルシフト
荷主企業	日本ペイント(株)
物流事業者	西武運輸(株)
事業概要	愛知 福岡のトラック輸送を鉄道にシフト。その際、福岡にクロスドック機能を持った拠点を整備して、ユーザーへのJIT輸送を行い、効率的なシステムに転換する。

## 輸送の効率化(1)

件名	トラック連結輸送の推進によるCO2の削減と輸送コストのスリム化
荷主企業	三協アルミニウム工業(株)、立山アルミニウム工業(株)
物流事業者	ST物流サービス(株)、大和トランスポート(株)、明穂輸送(株)
事業概要	富山から関東及び九州方面のアルミ製品輸配送について、幹線部分が現行のトラック1台ごとの輸送から、連結した新型のトラックに転換して、2台別々に複数荷主から積込みし、幹線は2台連結して共同輸送し、目的地では別々に切り離し別方面へ配送するもの。この転換で幹線の運行はドライバー1人で済む他、積込・配送時間の短縮や燃料の節減が図られる。

## 輸送の効率化(2)

件名	三島 - 神戸エコ・ロジフィード輸送の提案
荷主企業	プーキートレーディング(株)、河村商店(株)
物流事業者	日本通運(株)、(株)ユニエックス
事業概要	愛媛県四国中央市の製紙会社等を対象に、従来はトラック(三島村松倉庫 トラック 新居浜港 フェリー 神戸港 トラック 神戸コンテナヤード)で輸送していたコンテナ貨物を、三島村松地区の倉庫前岸壁と神戸コンテナヤード間を低コストの台船フィーダーを利用し輸送する。